

記載例

実務経験届出書

次のとおり、実務経験を有することに相違ないことを誓約します。

〇〇年□□月◇◇日

氏名 沼田一郎

(生年月日 昭和 57年 7月 20日 43歳)

建設業法第7条第2号イに該当する者(指定学科卒業者)	学校名												学部・学科名												卒業年月											
																									年 月 卒業											
建設業法第15条第2号ハに該当する者のうち実務経験を要する者	技能検定における検定種目、免許、資格等												合格・取得・登録年月日																							
																									年 月 日											
以下の実務経験により主任技術者資格を満たす建設工事業(該当種目に○印)	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
	土建	大工	左官	石工	屋根	電気	管工	タク	鋼管	筋鉄	コンクリート	塗装	ガラス	外装	内装	設備	機械	土木	建築	内装	外装	施設	構造	機械	電気	ガラス	清掃	解説								
実際に従事した期間を月単位で記入してください。なお、従事期間は重複して記入できません。																																				
実務経験																																				
所属事務所名	実務経験内容(工事名称等)																												従事期間							
〇〇工務店	〇〇邸新築工事																												平成 27年 4月から 平成 28年 1月まで							
〇〇工務店	△△邸増築工事																												平成 28年 4月から 平成 28年 11月まで							
〇〇工務店	× × ホテル改修工事																												満5年	平成 29年 2月から 平成 30年 4月まで						
〇〇工務店	〇〇アパート新築工事																													平成 30年 7月から 平成 31年 3月まで						
〇〇工務店	□□邸新築工事																													平成 元年 5月から 令和 2年 3月まで						
申請する建設業の許可種目に対応する実務経験を記入して下さい。 (今回の例)建築一式工事																																				
(株)△△建設	◇◇団地改修工事																													令和 2年 4月から 令和 3年 3月まで						
(株)△△建設	□□ビル新築工事																													令和 3年 5月から 令和 4年 9月まで						
(株)△△建設	△△小学校体育館改修工事																												満5年8月	令和 4年 10月から 令和 5年 3月まで						
(株)△△建設	× × 公園トイレ新築工事																													令和 5年 5月から 令和 5年 10月まで						
(株)△△建設	〇〇マンション新築工事																													令和 6年 1月から 令和 7年 11月まで						
<期間の数え方> 記載した工事の最初と最後の期間を数えます。 (今回の例) 平成27年4月から令和2年3月までの満5年 令和2年4月から令和7年11月までの満5年8月 計 満10年8月																																				
○記載要領	合計	満 10 年 8 月																																		

- この届出書は、申請する建設業に係る建設工事の種目ごとに、作成すること。
- 実務経験とは、当該工事等に技術者、設計技術者、現場監督技術者等として実質的に従事した技術上の経験をいいます。
- 建設業法第7条第2号のイに該当する者は指定学科に応じた年数、同号のロに該当する者は10年以上、法第15条第2号のハに該当する者は技能検定における検定種目、取得免許・資格等に応じた年数の実務経験を記入すること。